

2021年10月21日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2021年9月 マンスリー レポート

集計企業数 50 社

## ①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	61,583,192 万円	100.0%	102.1% (99.0%)	59,958,946 万円	100.9% (97.8%)
食 料 品	54,226,778 万円	88.1% (88.0%)	103.4% (100.1%)	52,713,510 万円	102.1% (98.7%)
農 産	8,595,785 万円	14.0% (13.4%)	103.0% (93.1%)	8,357,835 万円	101.7% (91.9%)
水 産	4,810,440 万円	7.8% (7.9%)	102.8% (99.7%)	4,669,913 万円	101.3% (98.1%)
畜 産	6,822,636 万円	11.1% (10.9%)	103.6% (101.5%)	6,629,183 万円	102.2% (100.0%)
惣 菜	6,580,669 万円	10.7% (10.9%)	107.7% (105.2%)	6,375,027 万円	106.0% (103.4%)
日配食品	12,365,996 万円	20.1% (20.0%)	102.8% (100.7%)	12,022,136 万円	101.5% (99.2%)
加工食品	15,051,252 万円	24.4% (25.0%)	102.4% (101.0%)	14,659,416 万円	101.3% (99.9%)
生活関連	3,469,962 万円	5.6% (5.8%)	95.0% (93.0%)	3,391,834 万円	94.6% (92.6%)
衣 料 品	1,060,902 万円	1.7% (1.6%)	87.5% (82.4%)	1,049,113 万円	88.8% (84.5%)
そ の 他	2,825,550 万円	4.6% (4.5%)	93.4% (93.1%)	2,804,488 万円	94.0% (93.8%)

## ② 数 値

全店総売上高	61,583,192 万円	店舗数	5,044 店舗
総売場面積	9,884,325.4 m <sup>2</sup>	総従業員数	280,581 人
店舗平均月商	12,209.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,061.9円 (101.4%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.2 万円 (6.6万円)	平均売場面積	1,959.6 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.6 万円 (21.9万円)	パート比率(前月)	77.0% (77.1%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 9月の天候について、月平均気温は北日本・東日本で平年並み、西日本は高かった。降水量は北日本の日本海側で少なく、日照時間は前線や台風の影響で東日本の太平洋側と西日本で少なかった一方、北日本の日本海側や沖縄・奄美ではかなり多かった
- ・ 生鮮物の相場状況について、野菜は天候の影響により、はくさいやレタスなど葉物類を中心に全体的に高値で推移したものの、果実は国産・輸入ともに全体的に安値で推移した。水産物の卸売価格は、前年並みで推移した。畜産物では、牛肉は前年に比べて高値で推移、豚肉は安値で推移、鶏肉はもも肉が安値、むね肉が高値で推移した
- ・ 土・日・祝日の合計は10日で、前年と変わらなかった
- ・ 新型コロナウイルス感染症関連について、全国1日あたりの新規感染者数は、月末にかけて減少傾向が続いた。9月13日時点で緊急事態宣言は19都道府県、まん延防止等重点措置は8県で発令されていたが、9月30日で終了となった
- ・ 商品動向全体では、気温低下で残暑に動く夏物商材が低調であったものの、緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が発令されていた地域では生鮮や惣菜、日常品の動向がよく、内食・中食需要の高止まりがみられた。加えて野菜の相場高の影響もあり、売上高既存店前年同月比は8か月ぶりに前年を上回った

## 《 商品動向 》

### ○農産

- ・ 野菜は、たまねぎ、じゃがいもなど土物類が好調に推移、レタス、はくさいは低調であった
- ・ 果実は、柿やみかんが好調であった

### ○水産

- ・ かつおが好調であった一方、不漁だったさんま、秋鮭は好不調が分かれた
- ・ 刺身類は概ね好調であった

### ○畜産

- ・ 豚肉、鶏肉は好調に推移した
- ・ 牛肉は、相場高の影響で輸入牛は低調に推移、国産牛は概ね好調であった
- ・ 気温が高かった地域では焼肉用、気温が低かった地域では鍋材料が好調であった

### ○惣菜

- ・ 全体的には引き続き好調で、特に弁当が好調であった
- ・ カキフライやキノコの炊き込みご飯など、秋の味覚が好調であったとのコメントがみられた

### ○日配食品

- ・ 鶏卵、パン、冷凍食品、練物、和菓子が好調であった
- ・ 残暑が続いた昨年の反動により、アイスクリーム、チルド飲料など夏物商品が低調であった

○加工食品

- ・ 菓子、パスタ、酒が好調に推移、米は低調であった
- ・ 気温低下で飲料が低調であった一方、鍋つゆが好調であったとのコメントがみられた

○「秋のお彼岸」「たばこ増税前」の動向について

- ・ お彼岸期間中は、みかんや柿などの果物、おはぎが好調であった
- ・ 一部駆け込み買いは見られたものの、今年のたばこ増税時と比べると低調であった